

## 式 辞

降り続いてきた雨もやみ、陽もさしてきました。本日、地域のご代表の方々にもおいでいただき、無事、入学式を挙行できますことを嬉しく思います。栄えある八十回生、323名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今、この場に座っている人の中には、何らストレスなく座っている人、中学校から再スタートを切りたい人、初めて大久保という地にやってきた人、様々な人がいると思いますが、心から皆さんを歓迎します。今、前から皆さんを見ていますと、随分大人びて見えます。ほんの20日ほど前は小学生だったのに、このわずかな期間の成長はなんでしょうか？制服を着ているからでしょうか？いいえ、それは違います。皆さんは本当に成長して、中学の入学式を迎えたのです。

人は『出会いで学び、別れで育ちます』小学校の卒業式という大きな別れで、皆さんは成長したのです。大久保中

学校は30学級、全校生徒952名に、80名近い職員を数える、明石一であると同時に、県下でも5本の指に入る大規模校です。生徒数が多いことは、出会いが多いことでもあります。多くの人と出会い、多くのことを学んでほしいと思います。

さて、その大久保中の強みである「人との出会いを広げ、それをプラスにしていくため」に大切なことを一つお話しします。

それは「自分のことは自分でする習慣をつけていってほしい。」ということです。自分で朝、起きましょう。自分から机に向かきましょう。クラブのユニフォームぐらい自分で洗濯しましょう。友人とのトラブルも、まずは自分で解決できないか試してみましょう。今、社会全体が「してもらおう」「ことに慣れすぎています。国は、社会は、

明石市は、学校は、先生は、親は何をしてくれるのですか？と周囲をサービス機関のようにとらえている人が増えています。そしてサービスに満足しないクレームもふ

えています。しかし周りを見渡せば、人生は自分で切り開かねばならないことを、周囲をあてにするものではないことを知っている人ほど、自立している気がします。

もちろん、個人差はあります。困った時は助けてもらって構いません。しかし、“自分でする”習慣をつけていった人は、何かあっても人のせいにならず、後悔のない人生を送れると思います。中学入学を機に、少しずつ挑戦してみてください。

最後になりますが、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。先ほど『出会いで学び、別れで育つ』という話をしましたが、お子様はきつと中学校の出会いで多くを学び、卒業式で大きく育つ経験をすると思います。子育ては、抱きしめて離さない時期、常に手を握っている時期、そして中学校は手を放し、目を離さない時期と言われます。これから三年間、職員一同、お子様の教育に精一杯取り組んでまいります。時にはご家庭の思い

とすれ違ふことがあるかも知れませんが、お子様の健やかな成長を願っている気持ちは職員も同じです。どうかご理解いただき、互いに手を取り合って、協力し合いますよう。

それでは、入学を心からお祝いいたしまして、式辞といたします。

令和六年 四月九日

明石市立大久保中学校 校長 矢野 毅 吉